

# 北海道芸術デザイン専門学校 教科目概要(授業カリキュラム)

職業実践専門課程 環境デザイン学科(2年制)

## インテリアコーディネーション専攻

※2017年度実績

教科目	概要	1年次	2年次
一般教養	社会人としての一般教養、常識、礼儀など、ビジネス社会に必要な知識を身につける。ビジネス能力検定の取得を目指す。	○	
英会話	英会話の学習を通じて社会人としての教養を身につける。	○	
住まいと環境	福祉住環境コーディネーター3級取得を目指す。	○	
インテリア計画演習Ⅰ・Ⅱ	人間工学インテリア計画の初歩的学習を行う。設計条件分析、発想方法、さらにそれらを具体化させラフプランニングを図面化し、設計の流れを学ぶ。	○	
インテリアプレゼンテーション基礎演習	Illustratorの習得とプレゼンテーションにおけるDTP作業を習得し、テーマ・コンセプト内容が人に伝わる作品説明になるように、レイアウト、色彩学的应用、より良い作品作りを目指す。	○	
インテリアデザイン基礎演習	著名なインテリアデザイナーに関する研究。PPシートを用いた照明器具の製作を通じて、自己表現とイメージを実現させる難しさ、完成した時の達成感を味わうことにより、実社会での人の立場や苦勞を知り、デザインの楽しさを知る。	○	
インテリアデザイン演習	スケールや尺度については身体を使い、光や素材については事例分析をしながら実際のサンプルに触れて特性を学ぶ。	○	
色彩	色彩学における基本的な理論の学習、絵の具、カラーカードを用いた実習により、色彩士検定3級の取得を目指す。また実践的な色彩計画をたてられる能力を身につける。	○	
インテリアパース基礎演習Ⅰ・Ⅱ	自己イメージの模索、形成過程、クライアントへのプレゼンテーションとしての、効果的なインテリアパースの習得を目指す。デッサンの基礎からパーステクニック基礎を学ぶ。応用して自分のデザインをパースで表現する。着彩と添景描写の技術を習得する。多様な着彩材料を使用し、作品に合った表現方法を習得する。	○	
インテリア構造・法規	木造在来軸組み工法について、模型を作りながら部材構成を立体的に把握し、構造の原理、法規についても理解する。	○	
図学・基礎製図演習Ⅰ・Ⅱ	木造住宅の設計。コンクリート造内部の軽量鉄骨下地、納まり詳細図を学ぶと共に、インテリア製図の基本・インテリア設計に必要な設計図の読み方を学ぶ。住む人の暮らしとスペース、予算、気候風土や要望などを考え合わせて行うインテリア計画の必要要素を学ぶ。また、間取り・動線・収納・設備・配灯・窓装・家具・色彩などのプランについて学ぶ。	○	
DTP基礎演習	コンピューターの基本操作と、ソフトIllustrator、Photoshopの基本操作の習得。プレゼンテーションにおけるDTP作業、テーマ・コンセプト内容が人に伝わる作品説明になるように、レイアウト、色彩学を応用し、より良い作品作りを目指す。	○	
CAD基礎演習	製図技法、表現技法としてのCADをとらえて、その技術習得を目指す。建築CAD検定3級を目指す。	○	
インテリア模型Ⅰ	インテリアデザインのプレゼンテーションに、より効果的な手段としての制作を習得する。インテリア素材や家具に関する観察力を磨くことを目標とする。	○	
インテリアコーディネーション基礎演習	インテリアデザイン・コーディネーションの実践的な手法を身につけ、コーディネーターに必要なコミュニケーション能力と技術を習得する。	○	
インテリアエレメント基礎演習	内装材・ファブリック・家具・照明のインテリアエレメントに対する知識を学び、ショールームで実際に確認する。	○	
インテリアディテール	自分のデザインをラフプランから実際の制作までを、ディスプレイを通して、素材研究し、インテリア空間を実際にデザインする過程を習得する。	○	
住宅設計基礎演習	小課題を通して、自由な発想とプレゼンテーション能力を養い、進級制作や次年度の住宅設計演習に、そのスキルを生かせることを目標に授業を行う。心地よい住宅を設計するための仕組みを学ぶ。なぜそうなっているのか？という疑問を解明し理解を深める。	○	
DTP演習	情報や思いを的確にわかりやすく伝えるためにはイラストや画像を使用したデジタルデザインが必要である。デザイン業界で世界標準のグラフィック描画ソフトIllustratorとPhotoshopを中心に、制作の基本となるソフトの操作スキル、デザインテクニックを学び、検定試験の合格を目指す。	○	
住宅設計演習	住宅の設計を中心に幅広く建築に触れ、計画する意味や楽しさを見出し、現地調査から設計までを体験する。建築設計の流れを把握し、インテリア設計に活かす事が目標。		○
業界研究	道内のインテリア業界を知り、研修、訪問などを通して実社会をより深く知る事で総合的なインテリアの仕事を理解する。就職活動につなげて行く。		○
インテリアパース演習	アイデアを基にラフスケッチで描き、図面から透視図法の活用で立体表現をする。主にインテリアの素材表現を水彩絵の具を用いて描くなど、実際のコーディネーターが行っている手法を多数取り入れ表現練習をする。またクイックパースの技術も習得する。		○
インテリアコーディネーター資格試験講座	インテリアに関する知識を身につけ、インテリアコーディネーター資格試験合格を目指す。		○
プレゼンテーション	基礎で習得した技術を広げ、正しい建築図の製図法、図面の概念や意味をさらに理解し、図面を通して伝えたいことを表現する為の基礎を学び、図面・パースを用いてプレゼンテーションボードをまとめる。コンペ応募を目指す。		○
インテリアプレゼンテーション	計画したコンペ課題作品を、より良くプレゼンテーションする為の研究とPhotoshopなどの様々な手法を取り入れ、作品を完成させる。		○

## 北海道芸術デザイン専門学校 教科目概要(授業カリキュラム)

インテリア模型Ⅱ	基礎を応用し、スチレンボードを主材料としモデリング技術をさらに磨く。		○
インテリアプランニング演習	既存のシティホテルの改修課題。実際の物件を対象に現地視察、周辺状況の確認、各自で課題対象範囲に対してテナント設定とインテリアの提案を行い、実際のクライアントを想定し、プロとしての内容を責任をもって説明する。		○
インテリアCAD	インテリアデザインにCADを応用し、家具、室内2D・3D空間の作成、プレゼンテーションボードの作成まで、CAD/CGテクニックを習得する。建築CAD検定合格を目指す。		○
インテリアコーディネーション演習	プレゼンテーションの重要性と実際のインテリアコーディネーションの一連の流れを理解した上で、コーディネーターが行う、基本計画案や実施計画案、各種エレメントなどのプレゼンテーションボードの作成技法を習得する。		○
前期課題制作	日常の実習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作をする。	○	○
後期課題制作	日常の実習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめとして課題制作をする。	○	
進級制作	クライアントの要望に基づいたテーマ設定のもと、設計計画からプレゼンテーションまで、コスト管理も含めた実践的な提案に取り組む。1年間の総まとめとして、発表、提出する。	○	
卒業制作	クライアントの要望に基づいたテーマ設定のもと、設計計画からプレゼンテーションまで、コスト管理も含めた実践的な提案に取り組む。2年間の総まとめとして、完成度のある提案を目指し、全力を尽くして取り組む。		○
総履修時間		1,200	1,200

取得目標資格	在学时：インテリアコーディネーター、アソシエイトインテリアプランナー、福祉住環境コーディネーター、建築CAD検定、色彩士検定、リビングスタイリスト資格試験 商業施設士補、ビジネス能力検定ジョブパス、Photoshopクリエイター能力認定試験、Illustratorクリエイター能力認定試験など 卒業後：インテリアプランナー、商業施設士（商業施設士補保有者は学科試験免除）、キッチンスペシャリスト、窓装飾プランナー		
--------	--	--	--

※1年間で1,200単位時間、2年間で2,400単位時間学びます。

※時勢や企業のニーズにより、内容が変更になることがあります。